

令和元（平成 31）年度事業報告

社会福祉法人 風舎

令和元(平成31)年度 事業報告書

1. 令和元（平成31）年度を振り返って

令和元（平成31）年度の最重要課題は赤字を解消することでした。

この1年、収入を増やすこと、支出を抑えることの2点に焦点を絞り、事業内容及び事業運営をその視点で行ってきたことが言えると思います。

過誤調整で大きな歳出があったものの、取りあえずは令和元年度は赤字を免れ、ようやく風舎再建の第一歩を踏み出せた感があります。

又、以前から就労継続支援B型事業と生活介護事業の一体的運営（多機能型）を目指していくという方向性が提示され、令和元年は具体的に検討をしていく計画になっていましたが、検討過程で具体的な問題が次々に表出し、まだまだ今後検討する時間が必要と思われまます。

他に、人材の確保は、看護師の入職・介護福祉士の増加等、何とか目的達成に近づきはしたものの、職員の支援の質の向上に向けての研修は後半になって本格的に動き始めたため、令和2年度に引き続き持ち越すことが考えられます。

2. 法人理念

人はありのまま互いにかげがえのない、1回限りの生きた存在として、心から大切にされなければならないことを根底的な認識としたうえで、

「誰もが望む地域で、普通に生きる社会を目指す。そのために生きる力（伝える・移動・体力）を育む」

《法人本部》

1. 役員会・監事監査（令和2年3月31日現在）

(1) 定員

理事 6～8名

監事 2名

評議員 7～9名

(2) 開催状況

会議	期	日	出席者数(人)		承認内容
理事会	令和元年	5月31日	理事 6	監事 2	平成30年度事業報告等
		6月20日	理事 5	監事 2	理事長選任
		10月24日	理事 7	監事 2	令和元年度指導監査結果報告等
		12月3日	理事 6	監事 2	令和元年度中間決算等
	令和2年	3月25日	理事 7	監事 2	平成31年度事業計画等
監事監査	令和元年	5月23日	監事 2		平成30年度監査
評議員会(定時)	令和元年	6月19日	評議員 8	監事 2	平成30年度会計等

2. 令和元(平成31)年度社会福祉法人風舎事業（令和2年3月31日現在）

① 本部

所在地 宮崎県日向市富高 6522 番地
職員 事務職員 2 名
厨房 管理栄養士（委託） 1 名、調理員 3 名

② 就労事業「風舎・とみたか」

所在地 宮崎県日向市富高 6522 番地
●全体 管理者兼サービス管理責任者 1 名
◆就労移行支援事業（令和元年7月31日付廃止）
定員 6 名
職員 就労支援員 1 名、職業指導員 2 名、生活支援員 1 名
◆就労継続支援 B 型事業所 風舎
定員 30 名（契約 31 名）
職員 生活支援員 1 名、目標工賃達成指導員 1 名、職業指導員 9 名
※職業指導員…就労移行からの異動者含む。

③ 生活介護事業所「風舎・つるまち」

所在地 宮崎県日向市鶴町 3 丁目 50 番地 8
定員 20 名（契約 17 名）
職員 管理者（兼務） 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 6 名、看護師 1 名

④ グループホーム（介護サービス包括型）

●全体 管理者（兼務） 1 名、サービス管理責任者 1 名、生活支援員 5 名

A ①どれみふぁ荘（本体）

定員 5 名（現員 5 名）
所在地 宮崎県日向市財光寺 252 番地 3
職員 世話人 2 名（パート）

②ハイツ F I N E !（サテライト型）

定員 1 名（現員 1 名）
所在地 宮崎県日向市財光寺 282 番地 3-103 号

B どーなつ荘

定員 5 名（現員 5 名）
所在地 宮崎県日向市大字財光寺 186 番地 58
職員 世話人 2 名（パート）

C みんなの家

定員 5 名（現員 3 名）
所在地 宮崎県日向市大字財光寺字長江 255 番地 3
職員 世話人 2 名（パート）、宿直員 3 人（兼務）

D ふあいとハウス

定員 5 名（現員 4 名）
所在地 宮崎県日向市永江町 1 丁目 92 番地 2
職員 世話人 2 名（パート）

E あおぞら

定員 5名(現員5名)
所在地 宮崎県日向市財光寺沖町64番地
職員 世話人3名(パート・夜間支援員)

⑤ 短期入所「あおぞら」

区分 併設型・空床型
定員 2人(空床5名まで)
所在地 宮崎県日向市財光寺沖町64番地
職員 ※グループホーム「あおぞら」兼務

⑥ 特定計画相談支援事業所「相談室・トレートール」

所在地 宮崎県日向市富高6522番地(風舎内)
職員 管理者兼相談支援専門員(兼務)1名、相談支援専門員1名

⑦ 地域生活支援事業 日中一時支援事業

とみたか・・・定員 4名
所在地 宮崎県日向市富高6522番地(風舎内)
職員 管理者(兼務)1名、生活支援員1名(兼務)
つるまち・・・定員 5名
所在地 宮崎県日向市鶴町3丁目50番地8
職員 管理者(兼務)1名、生活支援員1名(兼務)

3. 人事関係

A 退職者(8名)

正規.....支援員 ~~4名~~2名(岩田・前本)、看護師2名(稲田・小田)
パート.....支援員1名(赤木)、世話人1名(佐藤)、調理補助2名(荒井・橋口麻)

B 新採用(8名)7名

正規.....支援員3名2名(佐藤・上野) 看護師(正)1名
パート.....支援員補助1名(大平) 世話人 ~~1名~~2名(佐藤・松田) 調理補助2名(首藤・栗山)

C 異動(1名)

グループホーム世話人 → 生活介護支援員補助 兼 グループホーム世話人(岸本)

D 雇用形態の変更(1名)

有期雇用契約職員 → 正職員(疋田)

4. 法人の動き

平成 31 年	4 月	職員辞令交付式
令和元年	5 月	利用者健康診断 どれみふぁ荘・サテライト型設置
	6 月	坪谷きずな田植え
	8 月	ひよつとこ祭り出場参加
	9 月	合同保護者会
	10 月	坪谷きずな田稲刈り
	11 月	利用者健康診断
	12 月	クリスマス会 餅つき大会
令和 2 年	1 月	新年の挨拶（於とみたか） 合同保護者会
	2 月	職員健康診断（一部のみ）※コロナにて 3 月分中止 ふぁいとハウス移転（向江町→永江町）
	3 月	全職員総会

5. 研修・出張

平成 31 年	4 月	しろやま支援学校入学式（就労支援事業所管理者） 労務管理関係研修（日野社労士） あかつき学園落成式（理事長・業務執行理事） 全職員総会&研修
令和元年	5 月	社会福祉法人経営者協議会宮崎県支部総会（業務執行理事） 宮崎県障害福祉課訪問（理事長・業務執行理事） 労務管理関係研修（日野社労士）
	7 月	社会福祉法人経営協議会研修（業務執行理事）
	9 月	理事研修（理事 1 名・管理者 1 名）
	10 月	県障がい福祉課訪問（理事 1 名・本部職員 1 名） 過誤請求謝罪参り（2 市 2 町）（管理者 2 名・本部職員 1 名）
	11 月	しろやま支援学校文化祭（業務執行理事） 苦情解決セミナー（管理者 2 名・本部職員）
令和 2 年	2 月	監事研修（監事 2 名）

6. 寄付・助成金・寄贈

理事 1 名 … 役員報酬

評議員 2 名 … 役員報酬

江川ブロック株式会社 … 生魚 2 匹

7. 会議

管理者会議（管理者 3 名・業務執行理事・時々理事長）… 月 2 回

運営会議（管理者・主任・サービス管理責任者）… 2 か月に 1 回

行事・研修・防災委員会（担当者）… 随時

8. 連絡会・協議会

日向市・東臼杵自立支援協議会
社会福祉法人 経営協議会

9. その他

コロナ問題の対応 … 除菌電解水給水器の導入
全事業所セキュリティ会社契約変更（アルソック⇒セコム）

10. 課題

- ・各施設の老朽化が目立ってきている。対策が急がれる。
- ・つるまち又はとみたか移転先の早急な検討。

《就労移行支援事業》

(平成 31 年 4 月 1 日～令和元年 7 月 31 日)

1. 令和元（平成 31）年度の目標を振り返って

＜令和元（平成 31）年度事業計画での目標＞

利用者が社会に出る。その中（社会・地域）普通に笑いながら生きていける力を育むこと。そのために、利用者が「伝える力」「体力」「移動する力」を身につけるための訓練・学習・作業を継続して実施する。一般就職を目指せる環境を提供する、といった支援を行っていく。

＜結果＞

就労移行事業所の閉鎖が進む中、実質稼働は 3 か月だったが、利用者の笑顔と未来の為に、訓練・学習・そして一般就労できる環境を提供することができた。

現在でも、卒業者より「就労移行を経験し就職できて良かった。」と言ってもらえることで、いつか就労移行支援事業をもう一度するんだと、強く思うことができている。B 型事業の中で、就労移行支援のノウハウを生かしながら活動することで、一人でも多くの利用者に自立する喜びを味わってもらいたい。そのステップとして、又、就労移行支援事業を風舎でできるように事業所の体力、そして技術の向上に努めていきたい。

2. 定員

6 名（現員 3 名）

3. 利用状況

- ①入所者..... 0 名
- ②就職者（退所者） 3 名（男性…1 名：グローバルクリーン就職、1 名：退所、女性…1 名：風舎 B 型事業所へ編入）
- ③実習アセスメント入所者 0 名
- ④地域別..... 日向市 2 名、椎葉村 1 名
- ⑤利用者数

年	月	日数	現員	延べ利用者数	年	月	日数	現員	延べ利用者数
31 元	4	22	4	78	元	10	—	—	—
	5	23	1	19		11	—	—	—
	6	22	1	16		12	—	—	—
	7	23	1	19	2	1	—	—	—
	8	—	—	—		2	—	—	—
	9	—	—	—		3	—	—	—
延べ利用者数 計									132 人

4. 職員体制

職 種	常勤・専従	常勤・兼務	非常勤・兼務	非常勤・専従	計
管理者		1			1
サービス管理責任者		1			1
生活支援員	1				1
職業支援員				1	1
就労支援員	1				1

5. 利用サービス内容

① 授業

- ・生活訓練・・・身だしなみ、挨拶、金銭管理、電話応対、コミュニケーション力の向上等
- ・体力づくり・・・清掃作業等
- ・就労準備訓練・・・履歴書及び職務経歴書作成、模擬面接、手先の訓練等
- ・公共交通機関の利用

② 企業実習

- ・中国木材株式会社：1人（2日）

③ 職業判定支援

④ 就労定着支援

- ・女性：1名（ハローワーク）
- ・男性：1名（中国木材株式会社）

⑤ 健康診断

⑥ その他

- ・田植え、稲刈り、餅つき
- ・忘・新年会

6. 就職先を退職した人

1名（かどがわざわざわ会）

7. 職員研修

- ・虐待防止研修
- ・施設内研修・・・虐待防止研修（フィードバック）

8. その他

- ・日向ハローワークとの連絡調整
- ・県北各就労・生活支援センターとの連絡調整等

《 就労継続支援 B 型事業所 》

1. 令和元（平成 31）年度の目標を振り返って

＜令和元（平成 31）度事業計画での目標＞

社会に出る。という目標の中で、利用者に「伝える力」「体力」「移動する力」を柱に訓練・学習・作業をおこなっていき、一般就労を目指せる環境を提供し、地域で普通に笑いながら生きていける力を育む支援を行なっていきます。

＜結果＞

就労移行閉鎖に伴い、就労・学習訓練ノウハウがそのまま B 型に移行されたことで、毎月複数回の就労学習訓練を行うことが出来、B 型より 2 名の利用者を社会・地域に送り出すことが出来た。

また、風舎独自イベント #FIKA を開催することで、地域に根付いた風舎、地域の中の風舎の第一歩になったと考える。

2. 定員

30 名（契約数 31 名）

3. 利用状況

- ① 入所者……………2 名（女性、A 型からの入所）
- ② 退所者……………2 名（男性 1 名：進学、女性 1 名：就職）
- ③ 就労移行支援事業から移籍……1 名（女性）
- ④ 地域別……………日向市 26 名、延岡市 3 名、椎葉村 1 名、えびの市 1 名
- ⑤施設利用者数

年	月	日数	現員	延べ利用者数	年	月	日数	現員	延べ利用者数
31	4	22	30	541	2	10	23	30	630
	5	23	31	568		11	22	30	534
	6	22	32	633		12	23	31	594
	7	23	32	584		1	23	31	563
	8	23	31	556		2	21	30	565
	9	22	31	597		3	23	31	614
延べ利用者数 計									6,979 人
一日平均※									25.9 人

※一日平均人数算出式 = 延べ利用者数計 ÷ (365 - (8 × 12))

・ H30 年度_延べ利用者数 : 6198 人

・ R 元(H31)年度_延べ利用者数 : 6979 人

∴昨年度対比 112.6 %

★R2 年 4 月 1 日より新規利用者 1 名増。

4. 職員体制

職 種	常勤	非常勤	計
管理者	1		1
サービス管理責任者	1		1
生活支援員	1		1
職業支援員	5	4	9
目標工賃達成指導員	1		1

5. 利用者のサービス内容

I 主な行事

月	行 事 内 容
4	花見、保護者総会、防災学習会
5	県スポーツ大会、衛生学習会、HRC イベント販売等 2 件
6	川南茶屋ドライブ、職員総会、日向中職場体験、ひまわり支援学校実習
7	イベント販売 2 件、保護者会、しろやま支援学校実習
8	ひょっとこ祭り、椎葉村販売等販売、とみたか BBQ、金銭管理学習会
9	延岡学園文化祭等販売、ひまわり支援学校実習、とみたか日帰り旅行
10	きずな田稲刈り、恋するパンフェア等他 3 件、県民間体験研修、日向中職場体験
11	はまゆう園収穫祭、日向中職場体験
12	シュトーレン販売、法人クリスマス会、餅つき大会
1	利用者新年会、保護者会
2	クリーン部会、通所希望者体験利用
3	通所希望者体験利用、とみたか花見

* 毎月末、利用者考案の誕生会を開催。

II 作業支援

- ・ 工賃向上を目指す
- ・ 就労支援種目である作業を通して「就労ができる力」を育てる。

《作業内容》

作業部門	年間売上(円)	備考
パン製造販売	4,903,426	パン・焼き菓子製造
コロケの店「クロケット」	1,383,210	コロケ製造
施設外就労	2,111,669	黒木農園、百生会、あいあい、東ソー他
計	8,398,305	

・ H30 年度_年間売上実績 : 7,931,139 円

・ R 元(H31)年度_年間売上実績 : 8,398,305 円

∴昨年度対比 105.9 %

《イベント販売》

販売日	イベント	売上
5/25 (土)	HRC 手作りマーケット	23,160
6/1 (土)	しろやま支援学校フェスティバル	23,940
7/5 (金)	おはなしサロン	10,530
7/6 (土)	七夕フェスタ	19,840
8/3 (土)	ひよっとこ祭り	59,230
8/24 (土)	椎葉村映画祭	31,160
9/28 (土)	延岡学園文化祭	78,570
10/13 (日)	日向十五夜祭	51,700
10/19 (土)	HRC 手作りマーケット	11,200
10/20 (日)	富高小学校運動会	37,940
10/20 (日)	門川ふれあい祭り	37,800
10/20 (日)	恋するパンフェア	45,170
11/3 (日)	はまゆう園収穫祭	74,640
11/9 (土)	椎葉平家祭り 1日目	39,570
11/10 (日)	椎葉平家祭り 2日目	47,070
11/16 (土)	風舎イベント #FIKA	138,000
11/17 (日)	ひまわり支援学校 ひむか祭	17,020
11/23 (土)	東九州パン博 1日目	31,570
11/24 (日)	東九州パン博 2日目	33,790
12/6 (金)	おはなしサロン	10,430
12/7 (土)	光の祭典 1日目	10,090
12/8 (日)	光の祭典 2日目	4,800
1/25 (土)	宮崎県公民館大会	15,920
1/29 (水)	Q電子育てマルシェ in 延岡	9,160
2/15 (土)	日向市公民館祭り 1日目	24,390
2/16 (日)	日向市公民館祭り 2日目	37,710
2/19 (水)	Q電子育てマルシェ Vol. 2	15,640
計		940,040

※計上金額は、上記Ⅱ作業支援《作業内容》のパン製造販売に含まれています。

・H30 年度_イベント販売実績額 : 899,735 円 (25 件)

・R 元(H31)年度_イベント販売実績額 : 940,040 円 (27 件)

∴昨年度対比 104.5 %

Ⅲ 工賃

利用者による工賃会議にて、売上と経費の出納表に基づいて、利用者の「工賃」として配分する。

- ・工賃支給日・・・毎月5日
- ・賞与支給・・・8月・12月

月	人数	支給額	一人平均	備考
4	30	492,280	16,409	
5	31	547,455	17,660	
6	32	503,010	15,719	
7	32	517,475	16,171	
8	31	806,348	26,011	賞与 310,000 円含む
9	31	473,695	15,280	
10	30	522,430	17,414	
11	30	504,715	16,824	
12	31	891,185	28,748	賞与 418,000 円含む
1	31	455,080	14,680	
2	30	451,015	15,034	
3	31	497,770	16,057	
計	370	6,662,458	18,007	

・H30 年度工賃総額 : 5,458,517 円 平均工賃額 : 16,491 円

・R 元(H31)年度工賃総額 : 6,662,458 円 平均工賃額 : 18,007 円

∴昨年度対比 122.1%

6. 送迎

職員による送迎

年	月	延べ利用者数	年	月	延べ利用者数
H31	4	525	R2	10	495
R 元	5	554		11	444
	6	591		12	465
	7	627		1	565
	8	584		2	461
	9	518		3	480
延べ利用者数 計					6,309 人

7. 給食

- ・1日1回給食を提供し、利用者より材料代として350円の支払いを受ける。
- ・食中毒並びに感染症の予防として、流行時には生ものを中止する。
- ・利用者の嗜好を大切に考え、給食委員会での利用者の意見を取り入れた献立を心掛けた。
- ・肥満傾向・糖尿病等疾患がある利用者が多く見られることから、食欲と病気について、また、嗜好品の見直し、野菜を多く摂取する大切さを給食委員会で審議している。

8. 健康管理

① 嘱託医による健康診断（年2回）

② 施設内健康チェック（1回/月）… 体重・身長・血圧測定

③ 感染症予防対策について

- ・事業所入室の際のバイタルチェック及び手指消毒を徹底した。
- ・ミーティングの際、感染予防について、また、疾患した場合の対策等を審議して意識の向上を図った。
- ・体調の悪い人は、自ら伝えて休むか別の作業を行うようにした。
- ・感染症疾患が出た場合の予防対策マニュアルを作成中。
- ・余暇支援日等に、利用者へ衛生管理学習会の開催をする。

※コロナ対策として、利用者の体調観察に特に注意を払い、出勤前に自宅で検温し、37度以上の時は休んでいただくよう周知を図った。

また、厚生労働省から通知がある度に、利用者に報告・説明し家族にも文書で通知した。

9. 防災訓練

地震、雷、火事、水害等の予期せぬ災害に見舞われることの多い現代、常日頃より、災害から身を守る方法を身につけるために訓練を行う。また、日常生活上の危機意識を向上させるための支援を行う。

- ・R元年6月17日 地震による避難訓練を実施
- ・R元年10月21日 厨房火災初期消火・通報・避難誘導訓練実施
- ・月1回 消防器具点検（でんき110番）
- ・「自助・共助・公助」の学習と、『まず逃げる事』の大切さ、避難先の周知徹底を訓練に取り入れることで、自分の身は自分で守る術を身に付けてもらう。

10. 実習生

実人数 17名

11. 見学

22名

12. 出張・研修

- ・キャリアパス各研修
- ・サービス管理責任者研修
- ・相談支援従事者研修
- ・社会福祉主事任用資格研修
- ・防火管理研修
- ・虐待防止権利擁護研修
- ・発達障がい研修

《生活介護事業所 風舎・つるまち》

1. 令和元（平成 31）年度を振り返って

体制が変わっての初年度。つるまちの在り方を考える一年となった。コンセプトとして挙げた「夢中に集中できるものを探す場」としてプログラムを中心に動くのではなく、一人一人に向き合っていくことが定着し始めたように感じる。各々がこれをするために、つるまちに来ているというのが生まれてきつつあるようだ。本人から出てくるものをプログラムに逆に落とし込んでいくことは、職員側の観る力が重要になってくる。さらに丁寧な対応、立ち止まることに力を入れていきたいと思う。

2. 定員

20 人（契約数 17 人）

3. 利用状況

- ① 退所者…………… 2 名
- ② 地域別…………… 日向市 12 人、延岡市 1 人、門川町 2 人
- ③ 障害支援区分…………… 区分 6-4 人、区分 5-5 人、区分 4-8 人
- ④ 利用者数

年	月	日数	現員	延べ利用者数	年	月	日数	現員	延べ利用者数
H31	4	22	17	314		10	23	17	329
R 元	5	23	17	328	R2	11	22	17	313
	6	22	17	306		12	23	17	339
	7	23	17	328		1	23	17	324
	8	23	17	317		2	21	17	293
	9	22	17	311		3	23	17	295
延べ利用者数 計									3797 人
一日平均※									14 人

4. 職員体制

職 種	常勤・専従	常勤・兼務	非常勤・専従	計
管理者		1		1
サービス管理責任者	1			1
生活支援員	5		2	7
看護師	1			1
事務員			1	1

5. 利用者のサービス内容

(1) 主な行事

月	行事内容
4	花見、健康診断
5	県スポーツ大会
6	ぷらっとバス体験スタート
7	七夕まつり
8	ひよっこ祭り、お盆休暇、実地指導
9	景観絵画コンクール
10	科学技術館見学、きずな田稲刈り
11	こころのふれあうフェスタ出展、健康診断、Fika
12	クリスマスパーティ、餅つき大会、年末休暇
1	お正月
2	節分、アートワークショップ参加
3	ひな祭り

(2) 介護・支援内容

I 文化活動・体力づくり

■目的

個人に合った表現方法を見つけ、情緒の安定を図り、また、コミュニケーションの道具として社会への発信の媒体とする。

■内容

① 音楽

外部講師を招く予定であったが、都合がつかず叶わなかった。しかし職員が楽器に触れることが増え、利用者と音楽を楽しむことが増えた。音を使うことで発声への促し（大きい声、呼吸、早口言葉など）に取り組んだ。

② 舞踊

- ・ひよっこ祭り出場
- ・ダンス、ストレッチに積極的な参加が見られた。
- ・創作活動、作業、アルミ缶
- ・絵画教室の坂元講師に月2回来ていただくことで、陶芸が本格的な活動の一つとしてスタートを切ることが出来た。
- ・展示会に参加することで、活動を地域に知っていただく機会とした。

③ グッズ制作

- ・新たなグッズとして缶バッチ制作をスタートした。

④ 調理

- ・かりんとう、クッキー
- ・調理実習は季節に応じたもの、外出の際のお弁当などと多岐に渡り行い、好評だった。

II 生活学習

■目的

自立して地域で生きることを目的に、社会のルール、人間関係の在り方等を楽しみながら学ぶ。

■内容

- ① コミュニケーションについて
挨拶、会話、地域の挨拶、他人の気持ち等
- ② 身の回りのことについて
衣類の着用、整容、排泄、清掃等
- ③ 暮らしのことについて
交通ルール、食事、外食、健康（虫歯、風邪の予防）、貯金等
- ④ その他
公共の利用（バス、電車、社会資源利用等）

■一時金

絵画・さをり・菓子製造及び販売・リサイクル等の売上げによる利益を配分した。

月	金額	備考
令和元年 8 月	5,000×17 人	上半期 1 人分
12 月	10,000×17 人	下半期 1 人分
計	255,000 円	

6. 健康管理

- ① 嘱託医による健康診断（年 2 回）
- ② 体温・体調チェック（毎日）
- ③ 施設内健康チェック（毎月）
- ④ 感染症予防（ノロ、インフル、コロナなど）・・・事業所入室の際の手指消毒、うがいの徹底。
施設内消毒清掃、換気、出勤時の全員検温など。

7. 防災訓練

地震、雷、火事、水害等、予期せぬ災害に見舞われることを想定し、毎月、災害から身を守る方法を身につけるために訓練を行う。また、日常生活の危機意識を向上させるため、生活学習等の時間を有効に活用し支援を行う。

- ・月 1 回・・・津波、火災を想定しての避難訓練実施
- ・年 2 回・・・防災点検

8. その他

保護者会・・・年 6 回（偶数月）

9. 見学

- ・ひまわり支援学校職員、生徒
- ・県職員
- ・相談支援センターあかつき職員
- ・訪問看護ステーションひなた職員
- ・宮崎県障がい者芸術文化支援センター職員
- ・(株)大と小とレフ取締役

10. 出張・研修

- ・キャリアパス対応生涯研修（初任者コース）： 1名
- ・キャリアパス対応生涯研修（中堅職員コース）： 2名
- ・キャリアパス対応生涯研修（リーダーコース）： 1名
- ・チーム力を高めるコミュニケーション研修： 1名
- ・リスクマネジメント研修： 1名
- ・発達障害研修： 1名
- ・虐待防止研修： 1名
- ・サービス管理責任者研修： 1名
- ・苦情解決セミナー： 1名
- ・CSI プロジェクト報告会： 1名

《共同生活援助 どれみふぁ荘》

1. 令和元（平成 31）年度を振り返って

体制も変わり、職員の慢性的な不足の一年であった。そんな中でも年度の後半は人員もそろってきつつあり、次年度に希望を持てると感じる。利用者の中にも自分たちのことは自分で考える、発言するという意識が芽生えてきたようだ。「生きづらさを解決する場」としてじっくりと積み重ねていく支援を考えていきたい。

2. 定員

施設名	定員	現契約数
どれみふぁ荘	5名	5名
ハイツ FINE！（サテライト型）	1名	1名
どーなつ荘	5名	5名
みんなの家	5名	3名
ふあいとハウス	5名	4名
あおぞら	5名	5名
計	26名	23名

3. 利用状況

- ① 入居…………… 男性 1 名（令和元年 5 月）、男性 1 名（令和 2 年 2 月）
- ② 退居…………… 女性 1 名（令和 2 年 3 月）
- ③ 地域別…………… 日向市 17 名、延岡市 1 名、美郷町 1 名、椎葉村 2 名、えびの市 1 名
- ④ 障害支援区分…………… 区分 6-1 名、区分 5-2 名、区分 4-6 名、区分 3-3 名、区分 2-4 名、
区分 1・非該当-7 名
- ⑤ 延べ利用者数

年	月	日数	延べ利用者数	年	月	日数	延べ利用者数
H31 R 元	4	30	653 人	R2	10	31	688 人
	5	31	693 人		11	30	676 人
	6	30	678 人		12	31	670 人
	7	31	701 人		1	31	629 人
	8	31	692 人		2	29	627 人
	9	30	675 人		3	31	678 人
延べ利用者数 計							8060 人

4. 職員体制

職 種	常勤・専従	常勤・兼務	非常勤・専従	非常勤・兼務	計
管理者		1			1
サービス管理責任者		1			1
生活支援員	5		2		7
看護師					0
世話人			10	2	12

5. 利用者のサービス内容

以下のサービスを、個別支援計画並びに各自治会での意見に沿って提供する。

サービス種類	サービス内容
相談及び援助	利用者及びその家族が希望する生活や利用者の心身の状況等を把握し、適切な相談、助言、援助等を行う。
食 事	世話人が栄養と各人の嗜好を考え、バラエティーに富んだ献立を工夫し提供する。（食材費及び食事に係る水道光熱費はサービス対象外）
排 泄	排泄に関する介護を行う。
入 浴	入浴に関する介護を行う。
着替え、整容等	身だしなみ、清潔さには特に注意を払う。 利用者の好みにより、希望があれば付き添って購入する。 季節による衣替え、整理・整頓。
活動支援	地域行事への参加促進。 地域商店への単独買い物等を支援し、自主性を育てる。 自治会運営の補助。
健康管理	嘱託医師により、診察日を設けて健康管理に努める。 常時、世話人等により、観察・疾病予防・健康管理に努める。 また緊急時は、必要によって主治医あるいは協力医療機関等に責任を持って引き継ぐ。 利用者が外部の医療機関に通院する場合は、その付き添い等について配慮する。（付き添い料が掛かる場合あり）
入院等に関する支援	職員が家族等に代わって入院期間中の支援を行う。 ※但し、入院時支援加算の算定内とする。

6. 利用者日中活動状況

- ・就職者……………甲斐農園、グローバルクリーン、ミスターマックス
- ・障害福祉サービス利用者……………キャッチボール、日向共働社、絹の道、風舎、風舎つるまち
- ・その他サービス……………永寿園

7. 利用者による自治会開催

■全体自治会（1回/年）・・・未達成、毎月各ホームで1回

■内 容

- ・役割の確認（掃除・後片付け・戸締り）

- ・世話人及び風舎への要望（ホームの評価）
- ・個人の問題を全員で考える
- ・各ホームミニ自治会開催
- ・合同イベント 4月13日花見

8. 環境整備

□支援員の事務所設置

書類を1か所にまとめる取り組みを行ったが、職員の動きの定着ができなかった。次年度の課題といえる。仕事の整理が必要だと感じる。

□自立に向けたホーム

全体での自治会を開催することができなかった。週に1回調理を利用者で行う仕組みができつつある。定着したらほかのホームにもつないでいこうと考えている。

9. 防災訓練

地震、雷、火事、水害等、予期せぬ災害に見舞われることを想定し、災害から身を守る方法を身につけるために訓練を行う。また、日常生活の危機意識を向上させるため、自治会等の時間を有効に活用し支援を行う。

- ・津波や火事等を想定してのミーティングや避難訓練（週末や夕食後に実施）：年4回
（防災管理者：黒木隆）
- ・防犯警備会社（セコム）との契約締結
- ・防災グッズの購入（食料、水など）

10. 地域との関わり

- ・リサイクル、公園清掃（長江地区）、防災訓練参加

11. 研修

- ・強度行動障害支援者養成研修（基礎）：1名
- ・キャリアパス対応生涯研修（初任者コース）：1名
- ・キャリアパス対応生涯研修（チームリーダーコース）：1名
- ・リスクマネジメント研修：1名
- ・虐待防止研修 管理者コース：1名
- ・苦情解決セミナー（宮崎県）：1名
- ・発達障害研修：1名
- ・法人内研修・・・グループホーム会議：毎月1回、世話人会議：2か月に1回

12. 保護者会

- ・あおぞら保護者会（隔月）

13. その他

- ・各ホーム日中支援（掃除、食事作り、BBQ、夜間外出、墓参りなど）

《短期入所「あおぞら」》

1. 令和元（平成 31）年度を振り返って

職員が不足している中、日中事業所の協力を受けながら年間通して受け入れを行うことができた。また、ゲストとしてでなく定期的に来られる利用者に関しては目標を立てながら支援することを意識するようになった。

2. 区分・定員

併設型・2人

3. 利用状況

常時1室（2床）

年	月	日数	延べ利用者数	延べ利用日数	年	月	日数	延べ利用者数	延べ利用日数
H31	4	30	6人	16日	R2	10	31	4人	10日
R元	5	31	7人	23日		11	30	7人	19日
	6	30	8人	20日		12	31	8人	27日
	7	31	3人	8日		1	31	4人	10日
	8	31	3人	8日		2	28	5人	12日
	9	30	7人	16日		3	31	4人	11日
延べ利用者数 計									66人
延べ利用日数 計									180日

4. 職員体制

職 種	常勤・兼務	非常勤・専従	備 考
管理者	1		
支援員		1	
生活支援員	1		グループホーム「あおぞら」職員

5. 支援内容

グループホーム「あおぞら」の一員として支援する。

- ①食事の提供・介助
- ②入浴・トイレの介助
- ③余暇支援
- ④基本的な生活習慣の支援

《特定計画相談支援事業所「相談室・トレートール」》

1. 令和元（平成 31）年度を振り返って

エンパワメントを高める相談支援で人に寄り添い安心して生活できる街づくりを目標に掲げ臨んだ。また、法人内の組織として事業所運営を単体でも行えることを意識して一年間取り組んだ。黒字まではいかないものの、数と質との両立を意識した。

2. 契約数

年度初め 39 名（年度末 51 名）

年	月	新規	終了	年	月	新規	終了
H31	4	2			10	1	
R 元	5				11		
	6	4			12		
	7			R2	1		
	8				2	1	
	9	1			3	5	2

3. 職員体制

職 種	常勤・兼務	非常勤・専従	備 考
管理者	1		
相談支援専門員	1	1	

4. 年度実績

年	月	計画	モニタリング	年	月	計画	モニタリング
H31	4	4	10		10	1	7
R 元	5	3	10		11	2	13
	6	6	13		12	1	13
	7	5	11	R2	1	0	11
	8	2	15		2	1	9
	9	3	9		3	3	11

5. 業務内容

- ・ サービス利用計画作成
- ・ モニタリングの実施
- ・ 基本相談
- ・ ケース会議
- ・ 家庭訪問
- ・ 担当者会議の開催
- ・ 関係事業所等との連携

6. 研修

- ・ 障害者虐待防止
- ・ 権利擁護研修
- ・ 強度行動障害支援者養成研修
- ・ 多職種連携研修会

7. 会議

- ・ 日向市・東臼杵郡自立支援協議会（月1回）
- ・ 宮崎県障害者相談支援事業所連絡協議会（MSR）